

南阿蘇村議会だより

すいげん

みなみあその今と未来を発信

令和2年
2月1日発行

Vol.48

12月定例会

- 2 「旧久木野庁舎、利活用に向け予算化」 第4回定例会
- 4 「手数料条例の改正で激論」 合同常任委員会
- 6 「ずばり村政を問う」 一般質問
- 12 「あの案件はどうなった？」 追跡レポート

未来を語る新成人

Fight



人権啓発標語：「知ることが 差別をなくす 第一歩」

南阿蘇中学校3年 たつみ しおり
辰巳 詩織さん

動き出した旧久木

一般会計の補正予算、1億7423万4千円を

【令和元年 第4回定例会】

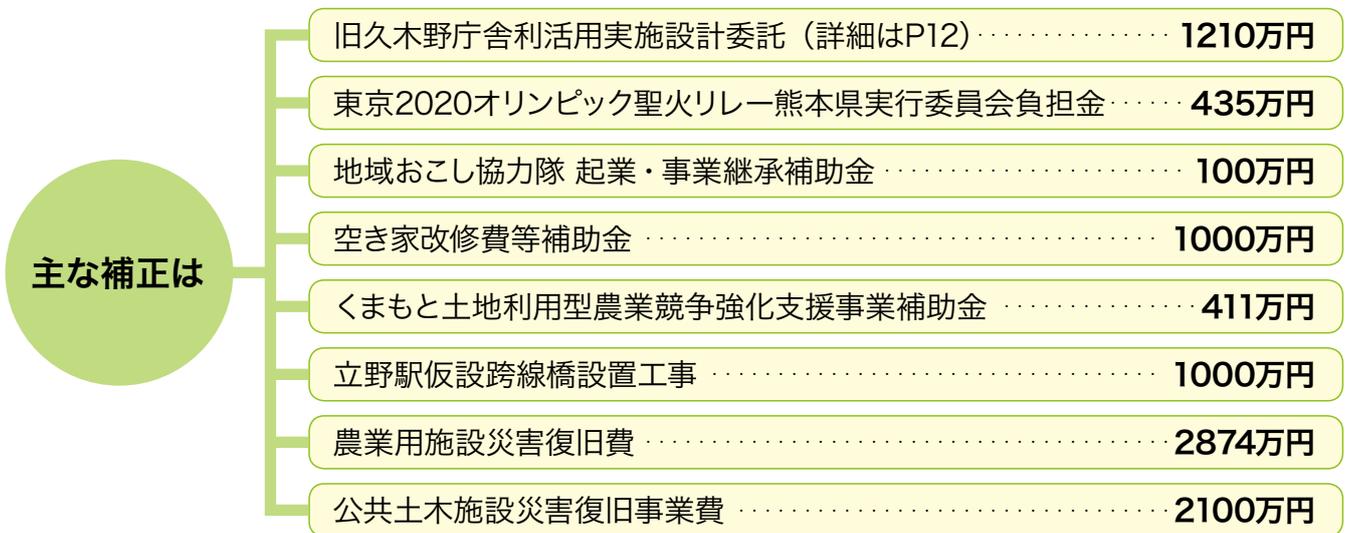
12月定例会は、12月9日から12月13日までの5日間の日程で開催された。

令和元年度一般会計補正予算など（条例5、予算3、その他15）と人事案件を原案通り可決。

人権擁護委員として、長尾 秀和氏・市原 邦幸氏の推薦に同意。

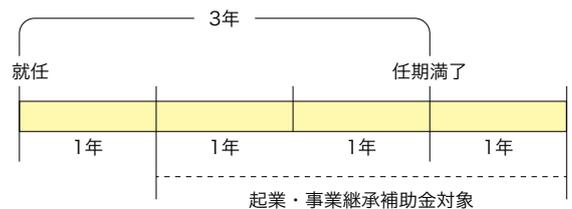
一般質問には5名の議員が登壇（詳細はP6～10）、行政の諸問題について質問した。

【令和元年度一般会計補正予算】



○地域おこし協力隊 起業・事業継承補助金

地域おこし協力隊の任期満了の日から起算して前1年以内または、任期満了の日から1年以内に活動地と村内で起業または事業継承に要する経費（一人当たり100万円を上限）



○空き家改修費等補助金

空き家バンクを利用する物件所有者に対し、物件の改修費用や家財処分費用の一部を助成

	改修実績（1戸あたり上限100万円）		家財処分実績（1戸あたり上限10万円）	
平成29年度	14件	5848千円	0件	0千円
平成30年度	13件	7743千円	5件	182千円
令和元年度	19件	13430千円	3件	57千円

※令和2年度要綱変更予定（条件付き）

【第3回臨時会 10月28日】

議案	審議内容
承認第12号	南阿蘇村買取型災害公営住宅整備事業売買契約の変更
承認第13号	南阿蘇村一般会計補正予算第4号の承認
議案第85号	工事請負契約の変更

審議の結果、全会一致で原案可決

野庁舎の利活用

追加し、総額で156億7188万円に



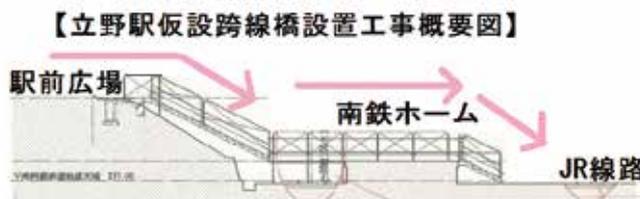
旧久木野庁舎利活用実施設計委託費
1210万円



農業用施設災害復旧工事（平成長野大橋）
2874万円



公共土木災害復旧費（熊本県代行工事喜多・垂玉線）
2100万円



立野駅仮設跨線橋設置工事
1000万円

南阿蘇村手数料の一部を改正する条例の制定（議案第89号）

※本条例で規定している住民票等各種の証明書類の発行にかかる手数料を一律に200円から300円に引き上げを行うものである。

反対討論

太田議員

増収効果160万円程度なら、節約や予算の組み替えで対応可能だ。これを皮切りに、村民負担増のラッシュにならないかを懸念する。安易に村民負担を求める前に、政治行政が身を切る改革を優先すべきだ。

反対討論

橋本議員

手数料の引き上げにより村民の負担は大きくなる。これまでの行政と村民との信頼関係を損なうものであり、受益者負担在りきを前提とするやり方は改めるべきである。

賛成討論

丸野議員

証明書発行等の手数料実績より300円に改定した場合、年間約160万円の増収が見込まれる。消費税増税に伴う維持管理費等の必要経費の増額分に充当するなど増税分を転嫁するためにも必要な財源である。

審議の結果、賛成多数（反対2）で原案可決

委員会での主な審議内容

手数料条例の一部を改正する 条例の制定について

〈橋本議員〉

手数料条例の一部を改正する条例の説明を。

〈住民福祉課長〉

硬直化する財政の健全化に向けた一助となればとの理由。200円の手数料を300円に上げたい。消費税10%による消耗品やシステム使用料も増額している。

〈橋本議員〉

財政の健全化に対する値上げと理解していいか。値上げしないといけない根拠が必要だ。

〈住民福祉課長〉

消費税の影響額や偽造防止証明書用紙等の費用、人件費など手数料原価から200円は安価な状態。

〈太田議員〉

160万円程の増収が見込めるという説明だが、それを住民負担に求めるのはどうか。他で捻出できないか。

〈村長〉

財政健全化を目指し、研修バス・納税組合廃止、温泉の値上げを行い、今回手数料を上げる。これだけで財政再建というわけではない。今後も努力する。

〈太田議員〉

特別職や議員報酬を見直す審議会は開催したのか。

〈総務課長〉

他市町村の議員・首長と比較し、概ね平均なので必要ないと判断し開催していない。

旧久木野庁舎の利活用実施設計委託費の件 〈柝原議員〉

久木野村土地改良区の事務所が旧久木野庁舎内にある。設計では、庁舎内のどこに置くのか。

〈総務課長〉

旧庁舎3階で検討したが、農家の利便性を考え、旧そば道場やJA阿蘇旧久木野支所などの提案が総務常任委員会からあった。旧JA支所を借りる場合の経費について農協と話し合い、旧庁舎3階にするか、その他にするか近いうちに決める。

〈村長〉

農家に負担を新たに強いるようなことは極力避けたい。できれば、白水地区の改良区と近い将来、統合等をする事で経費節減ができる。その方向で検討していく。

南阿蘇中学校エレベーターの設置について

〈丸野議員〉

設置費330万が計上され、階段昇降リフト設置費が減額されている。関連すると思うが説明を。

〈教育委員会事務局長〉

リフトを設置した場合、階段のスペースが取られ、階段の降り口・出口のところが狭くなり、いろんな不利益が生じる。当初、学校側もエレベーター設置を要望しており、将来的な利活用も踏まえ、設計費を計上した。改修工事の際にエレベーター設置のボックスがあり、エレベーターだけを入れる工事になるので、本来の費用の半分ぐらいで工事ができる。

令和元年度一般会計補正予算

立野駅仮設跨線橋設置工事は

〈笠野議員〉

工事概要の説明を。

〈産業観光課長〉

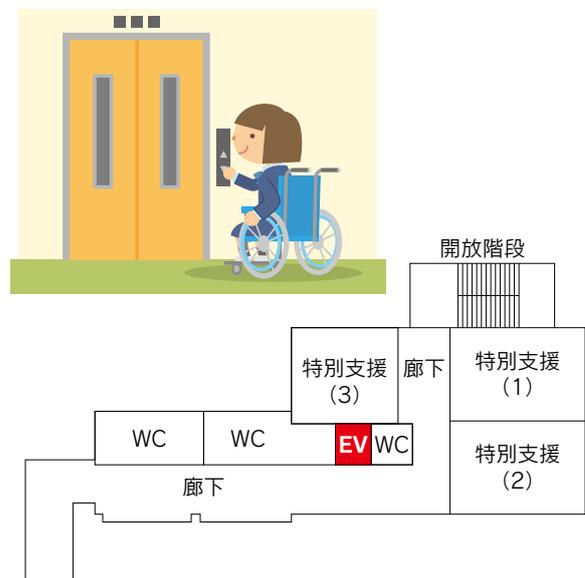
豊肥本線が運行を再開した際に、JR立野駅に通ずる通路が南阿蘇鉄道立野駅の解体工事に伴って、なくなることから仮設の跨線橋を設置する。

〈笠野議員〉

仮設ではなく、本設の跨線橋は考えないのか。

〈産業観光課長〉

経費の確認をしたが仮設のほうが安く済む。



空き家改修費等補助金について

〈橋本議員〉

補助金1000万円について説明を。

〈次世代定住課長〉

令和元年度は、既に1300万円申請があり、空き家バンクを活用して空き家改修している。全部の方々に配分する必要があるかを踏まえ、今後制度の改正を考える。

〈橋本議員〉

空き家バンクの登録者は増えても、人口は増えていない。本当に人が定住できるのか。

〈次世代定住課長〉

現在、空き家バンクの登録世帯が439世帯あり、人数は948名。そのうち、既に入居されている方は89世帯、194名。空き家改修費補助は一役買っていると考える。



キッチン改修前



キッチン改修後

堆肥舎屋根張り替え工事とは

〈太田議員〉

工事費450万円、この内容は。

〈農政課長〉

台風17号により、村有機肥料センター3棟の屋根が26カ所吹き飛ばされた。雨漏りが激しい状況となっており、修繕費を計上した。また、損害保険に該当するので、書類等を提出する準備を進めている。

その他

子育てコーナーを設置しては

〈笠野議員〉

次世代定住課で子育ての方もやっているが、子育てを別のコーナーに作っては。

〈総務課長〉

子育てに関しては、複数の課にまたがっており、ワンストップ窓口として、1階に設置してはどうかと各課で検討している。子育て世代の方が便利のように配置しようと考えている。

障がい者用駐車場の再設置を

〈工藤議員〉

屋根付きの障がい者用駐車場があったが、いつの間にかなくなっている。住みやすい村づくりを念頭に置いて再設するべきでは。

〈総務課長〉

要望もあるので同じ場所に設置を考えている。

獣害侵入防止柵について

〈今村輝宏議員〉

進展があったと聞いたが、現状での獣害等の柵について概要説明を。

〈農政課長〉

国からの100%補助であるが、自ら設置する直営施行になる。受益農家数が3戸以上の農地で周囲を囲み、設置後は14年以上耕作と維持・管理が継続できることが対象条件である。

その他の主な質問

〈笠野議員〉

- ・贈呈ランドセルの色を考えるとは
- ・1階インフォメーションの再設置を

〈丸野議員〉

- ・農政課雑入の説明を

〈桐原議員〉

- ・散水車借り上げ料とは
- ・小中学校通学路危険ブロック塀対策事業の件

〈山室議員〉

- ・白水庁舎地震計移設工事の説明を

〈今村竜喜議員〉

- ・不動産売払い収入とは
- ・償還金の村税還付金とは

〈橋本議員〉

- ・職員駐車場の有料化を

〈太田議員〉

- ・マラソン大会の収支、議会に報告を

ここが聞きたい

ずばり村政を問う!

一般質問は、会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で構成し、掲載しています。詳細は、会議録の閲覧ができます。



一般質問

ここが聞きたい ずばり村政を問う!

今村 竜喜議員

行政区再編の考えは

今村議員

村内37行政区の単純平均数字は1区あたり約280人、世帯数は約120戸となる。昨年度から高齢化率は40%を超えている。少子化対策や移住定住事業の推進を図っているものの、今年度の出生数は昨年度を下回りそうであり、地域は暮らし・自然環境の維持が厳しくなると思われる。

集落戸数が減少しなくても今後平均年齢は上がってくる。合併時に消防組織の再編を実施した、これを参考にできないか。現段階でも十分活動されているが、あと5年・10年後には地域をけん引する担い手の存在。消防という地域活動の経験が活かされると思う。

検討していくメリットある

村 長

50世帯を切る区が9区存在、人材の不足により役員のなり手が少ない等、多くの負担や困難が予想される。行政区が再編されると区長業務の効率化にもつながると考えられる。複数の集落と公民館を有する行政区も存在するので、事例に倣いながら行政改革の一環として再編を検討していくメリットはある。

伝統・慣習・行事等が異なっている場合や財産や入会権^{いりあい}※等を有している場合があるため、慎重に行う

必要があり、要望がなければできない事である。

今村議員

災害公営住宅整備4団地94戸完成、新たな生活拠点も誕生した。区への編入、地域警戒や見守り、有事の対応など防災の点から総務課の考えは。

総務課長

消防組織は、平素は生業を持っている住民が、有事のとき団員となり活動を行う機関。その地域に住んでいるからこそ混乱した災害の場において、その貴重な情報が生かされる。一番の活動は有事の際、村民の生命と財産を守ることにある。今後も分団毎の協力体制をとりながら、地域防災・消防力の充実に努めていく。

今村議員

地域の催事・まつりなど文化の継承を行う上でも再編は考えておくべきである。村内の地域で参考になる部分は取入れ、公^{やく}役に参加できなくなる人が増える中、協議や改善をしながら集落維持・生活基盤確保のため検討は必要。



^{いりあい}※入会権とは…

一定の地域の住民が特定の森林、原野、漁場を共同で利用する権利のこと。

笠野 眞喜議員



あそ立野ダムの利活用策は

笠野議員

村として阿蘇立野ダムの工事中、完成後のダムの利活用をどのように考え計画を実施するのか、令和元年11月、阿蘇立野ダム活性対策特別委員会で高知県宿毛市にある横瀬川ダム・中筋川ダムの研修を行った（詳細はP11）。国、地元自治体が一体となり、農林業及び観光振興等への活用や取り組みを研修してきた。立野ダムも両岸の掘削・クレーンの基礎工事など順調に進んでいる中、現状ではダムカードの配布・ダムカレーの販売・フォトフレーム・立野テラスの設置がされ、関連商品として酒・焼酎・ジャムの販売、ガイド育成がされているが、ツアーの状況や穴あきダムの利活用をどのように考えているか。



横瀬川ダムに設置されてるクライミング施設

西の観光拠点として活用する

村 長

ダム見学者も村内外から16,400名が訪れている。工事中だからこそ開催できる昼夜のインフラツアーや、立野峡谷のジオサイト、震災遺構を活用しながら地域活性化を図りたい。ダム完成後は穴あきダムの特性を生かし、ダム上流でのカヌー・ボートの川遊び、ダム壁面を利用したクライミング・ボルダリングなど体験型観光の展開を。仮設備ヤード跡は観光の拠点、災害時の避難拠点として利用する事を検討している。さらにリムトンネル※を活用した特産品開発し、農業振興にも活用したい。

ダム周辺の施設計画は

笠野議員

ダム周辺の施設として管理棟・資料棟・ダム駅・多目的広場・避難施設が整備されると思うが、どのような考えをもってどの時期に実施するのか。

ダム工事事務所と調整図り検討を

村 長

周辺施設は、南阿蘇村地域整備計画に含まれている。現在の工事工程を見据えながら、改めて、整備スケジュール等を見直す必要がある。ダム工事事務所が整備する管理施設や資料展示の計画と調整を図りながら、仮設備ヤード跡地に設置予定の避難所機能を備えた多目的施設・ダム駅も2020年度までに基本計画を策定し整備の方向を定める。



活用が期待される立野ダムの上段リムトンネル（高さ3.5m 幅3.0m 長さ380m）

※リムトンネルとは…

セメントミルクやモルタルを隙間などに充填する作業のために堤体上面横の山に掘る小型トンネルのこと。



太田 吉浩議員

行革への組織体制は

太田議員

震災以来、インフラ復旧や生活再建を最優先に取り組んできた。それに伴い、村の負担が膨らみ、財政が悪化している。復興事業と並行して、行財政改革（以後・行革）が必要だ。

①村長は、行革を優先順位の高い課題と認識しているのか。であるならば、どのような組織体制で臨むのか。

②現在の支出を減らしながら、村の収入を増やす為の方策は。

担当者を配置したい

村長

①指摘の通り、震災後、財政が悪化しており、行革は急務だ。理由は、国からの普通交付税の減額、各統合事業の公債費の増大、災害対応の職員増加だ。専門部署新設は人的余裕がなく、既存部署内に担当者を配置したい。

②支出削減は、今年度から事業の洗い出しを始めた。来年度は当初予算から、全事業（人件費・扶助費・公債費を除く）の前年比10%以上を削減。特に、遊休施設の統廃合、各種補助金や新規建設事業の見直しを強化する。

歳入増には、課税漏れ家屋・滞納者への徴収強化。また各種証明書の手数料を見直す。無料の公共施設使用料も徴収を。遊休施設・土地の売却で、自主財源を確保したい。

太田議員

司令塔的役割が、担当者の設置程度で対応できるのか疑問だ。各課横断のプロジェクトチームを編成してはどうか。

村長

これから検討したい。

久木野地区・水道一元化は、いつまでに

太田議員

①耐用年数を越えた水道施設更新は、全国の自治体で課題だ。特に本村は震災を経験しており、水道管

破裂の多発が予想される。一方で、人口減少で水道料金収入は減少傾向で、更新投資の財源捻出も課題だ。また、予測困難な事故対応に、役場担当課では無理も苦労も多いようだ。今後の水道施設の維持管理と、担当課の人員増強の考えは。

②平成28年度内に計画された旧久木野地区の簡易水道組合の一元化が遅れている。震災対応も分かるが、濁り水や水源枯渇、組合員の高齢化等の問題が起きている。いつまでに、一元化を実現するのか。



老朽化し破裂した水道管（中松3区内）

③震災後、分譲地や別荘地で水道復旧を管理者が放棄した。その場合、住民の拠り所は行政しかない。トラブル回避には、開発前に管理者と村の責任義務の明確化が重要だ。今後、行政の対応は。また給水区域内で、住民間の係争等で同意が得られず、未だ断水が続いている世帯もある。生活困窮者を救済する為、村長裁量で村が給水する考えはないのか。

今年度内に説明を

村長

①水道施設の再投資には、91億円が必要。今後の維持管理は庁内で議論し、計画的な更新と料金の見直しで運営の安定化を図りたい。また今後、適切な担当人員の確保に努めたい。

②料金や改修計画を含めた村の方針を決定した後、今年度中に全組合へ説明を。条件が整った地域から、村の管理下に移行を。

③私権が及ぶ範囲は、関係者間で解決を。村は給水区域外から給水を求められても、法律上、その義務はない。しかし、災害時には必要な措置を柔軟に講じたい。

太田議員

①現役職員にこだわらず、役場OBや地元業者との協定等でも対応できるはずだ。

③逆に、給水区域内は、村の給水義務が発生するのでは。人道的立場で、村による給水を要望する。

桐原 純男議員



白水地区に新たな観光拠点整備を

桐原議員

久木野地区は、あそ望の郷の拡張計画・そば道場の移転新築・図書館整備計画・木の香湯温泉の再建。長陽地区は、立野ダム関連の観光地づくりや立野駅周辺整備・東海大学周辺の震災遺構整備・展望所などが計画 중이다。しかし村東部、国道325号線沿いの

- ①白水地区には、新たな核となる拠点整備計画がない。村内バランスの取れた計画が必要ではないか。
- ②同ルートには、大津町から道の駅はない。物産館の建設や水道の整備等、観光地として村東部の拠点整備が必要ではないか。



整備が待たれる325号線沿い

大型投資の時期ではない

村 長

- ①白水地区は統合後の中松小、両併小と白水庁舎周辺を地域コミュニティや活性化に資する施設として活用し、地域間格差が生じないように進める。
- ②厳しい財政状況の中、物産館建設等の大型投資をやる時期ではない。瑠璃温泉等の資源を活かし、最小の投資で効果を上げるよう施策を展開していく。

325号線沿いの水道敷設は現在、中松地区から西に向かって整備中である。その完了後に考えたい。

桐原議員

跡地整備で、観光や経済の活性化は期待できない。これでは、村内バランスの取れた施策とは言えない。高森町は大きな施設も多く、白水とは雲泥の差がある。あそ望の郷は、成功した事例だろう。10年20年後、次世代につながる核となる施設と環境整備を進めるべきだ。

ふるさと納税の今後は

桐原議員

ふるさと納税制度を活用すれば、税収以上の寄付を集めることも可能だ。宮崎県都農町は、人口1万700人、本村とほぼ同じ規模で過疎地域の町だが、2018年度には、約58万件96億円の寄付があった。九州でも多くの自治体が多額の寄付を受けている。

本村の昨年度寄付額は、1億6000万円。さらなる研究とアイデアをもって取り組んでいけば、活性化につながり、財政状況にも余裕が生まれてくるのでは。

- ①人気返礼品名と寄付金額の状況は。
- ②今後どのように取り組んでいくのか、方向性は。
- ③村民の村外へのふるさと納税寄付額の状況は。

大きく伸ばせるよう努力する

村 長

- ①返礼品の1番人気は、あか牛肉。寄付状況は、前年比、件数で1.3倍3852件、金額で1.5倍7038万円（令和元年10月末時点）。

- ②宮崎県都農町等の自治体を分析すると、ボリュームを含めた返礼品の充実。効果的な広告等である。

本村でも返礼品を拡充している。本年は、WEB解析の専門家に依頼し、30-40代をターゲットにした広告や、村独自でLINEに広告展開を行う。またキャッシュレス化に対応し、電子ポイントを返礼品とした【電子感謝券】を提供している。企業版ふるさと納税も準備中。潜在能力はあるので、大きく伸ばせるよう努力する。

- ③村外への寄付金控除額は、29年が35件234万円。30年129件640万円。

桐原議員

知名度のある南阿蘇村。湧水や阿蘇の景観、あか牛などの特産品がある。調査研究し寄付金の大幅な増加を実現してほしい。



人気返礼品のあか牛



橋本 功議員

黒川地区創造的復興の進捗は

橋本議員

国・県・東海大学の3者が締結した協定には『黒川地区創造的復興プロジェクト』も含まれている。現在は、実習時の学生たちの弁当作りを高齢者ボランティアが担っている。住民はボランティア活動ではなく、働ける場所を求めている。黒川地区の再生を進める創造的復興の進捗状況は。

行政主導ではなく自立支援を

村 長

黒川地区有志で組織されている「すがるの里」は週2回、学生フィールド・視察研修者の弁当を提供している。旧長陽西部小学校を東海大学と村の交流施設として来年度整備する計画である。生活再建は、産業の復興、雇用の確保が大切であり、行政主導ではなく自立を支援していく。

固定資産税の軽減は

橋本議員

黒川地区は、東海大学農学部の学生を主体とした商業地であった。発災から3年8カ月が経ち、被災者はようやく生活再建に向けて歩んでいる。地震で倒壊しなかった共同住宅は工事関係者の退去等で空室が多くなり、空き家になることを危惧している。今では商業地ではなく、震災遺構保存集落になった。固定資産税の軽減をお願いしたい。

最大限の支援を行っている

税務課長

地震で被害を受けた固定資産税所有者に対し、10分の4減額から最大は全額、減免を行った償却資産は4年間課税標準額を2分の1とする代替償却資産の特例が講じられた。黒川地区は土地評価の基準点を見直し、3割以上の下落率となり、最大限の支援を行っている。家屋の特例としては、被災した家屋を建て替えた場合に4年間2分の1の税額を減額する。

役場や学校、 公有地内駐車場の有料化は

橋本議員

発災後、村の財政は厳しい状況が続いている。少子高齢化の進行で地域経済の復興基調が見られない。その中で、行政改革の一つとして職員駐車場を有料化すべきと考える。①職員が利用している駐車場の台数は。②利用規定はあるのか。③料金徴収を前向きに考えられないか。



職員が利用している庁舎西側駐車場

公務の効率運営を図るためには 無償のままがよい

総務課長

- ①職員の利用台数は、保育所含めて186台。臨時職員・非常勤職員を含めると250台になる。
- ②規定はない。
- ③公務の効率運営を図るためには、駐車場使用は無償のままがよい。

橋本議員

また、学校施設の駐車場も長年にわたって無償で使用している。学校も公有財産であり、目的外使用については議論を講じることはないのか。

現状では馴染まない

教育長

教職員は、村外からの通勤者が多勢を占めている。駐車場を有料にした場合、異動希望に影響することが推察されるので、駐車場の有料化は現状では馴染まない。

議会活動

先進地実態調査研修 (令和元年10月23日～25日)

- 議員12名 ●事務局2名
- 会津若松市議会視察研修

10月23日午後、会津若松市議会議場にて2名の市議より「市議会の軌跡」と題し、主に議会基本条例の制定につき議会改革の説明があった。

議会基本条例の受け止め方として、市民にとっての新たな価値創造に向け、市民参加を基軸とした政策形成サイクルの確立と実践によって積極的な政策形成を行い、まちづくりに貢献していくためのツールであると定義。市政発展への貢献が最終目的として議会運営に取り組まれていた。



会津若松市議場にて意見交換

会津若松市内視察

鶴ヶ城内視察では、南阿蘇村より寄贈された顕彰碑も視察することができ、当日は、佐川官兵衛顕彰会のメンバーの方々とも交流した。会津若松市内は、歴史のある街並みが綺麗に整備されており、観光客も多いようである。



村より寄贈された顕彰碑

阿蘇立野ダムみらい活性対策特別委員会 先進地視察研修 (11月18日～20日)

- 委員5名 ●正副議長 ●村長 ●執行部2名
- 事務局1名 ●立野ダム工事事務局2名

高知県宿毛市の横瀬川ダム・中筋川ダムと愛媛県内子町の企業組合内子ワイナリーを委員会で研修した。

横瀬川ダムでは工事中の夜間工事ツアー・ダム壁面を活用し地元自治体が整備したクライミング・森林探検サイクリング・スラックラインの整備・計画がされていた。中筋川ダムでは監査廊を活用し濁酒を貯蔵され、品質向上とダムで貯蔵した酒としてPRし農林業の振興を図られていた。中筋川ダムは下流壁面が75cmの階段状に仕上げがあり、イベント時に放水され観光面でも活用されていた。



地元自治体が設置したクライミング

内子ワイナリーは6ヘクタールの耕作放棄地を活用し生食用のぶどうを生産加工・販売している。

本村もワイン用ぶどうを栽培している。将来的にはリムトンネルを利用してのワインの貯蔵に期待したい。



名物の横瀬川ダムカレー



内子ワイナリーで研修



あの案件はどうなった？

『旧久木野庁舎利活用編』

平成29年4月

庁舎が開庁

統合により、旧3庁舎は閉庁し、空き施設へ。

平成29年6月・9月

定例会一般質問

太田議員:「空き施設の管理計画は」

笠野議員:「旧久木野庁舎の活用は」

今村輝議員:「村内施設の動向は」

吉良村長:

「具体的な利活用は検討委員会を作り、協議を」

平成29年9月～平成30年1月

「地域活性化公共施設等利活用検討委員会」が発足
議会から3常任委員長が委員に。全4回の会議を経て、
村内遊休施設に関する答申をまとめた。

平成30年2月

吉良村長に、検討委員会からの「答申書」が提出された。

平成30年9月定例会

合同常任委員会における笠野議員の質問に対し、
吉良村長は「村民から図書館の要望が強い。2階
は図書コーナー、3階をキッズコーナーへの改修を目指
したい」と答弁。

平成30年11月～現在まで

新たに「公共施設利活用等推進委員会」が発足。

先の検討委員会での答申を推進する目的で発足し、現在
も他の空き施設を含め、事業の進捗を確認している。

令和元年12月定例会

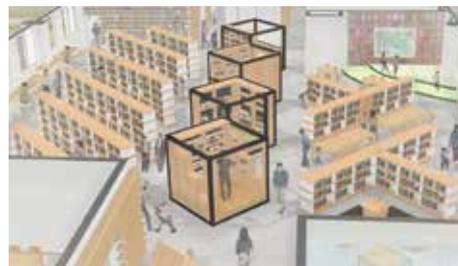
実施設計の委託費1210万円を予算化。計画では、令和
2年3月までに設計を完了させ、夏から改修工事に着手。
令和2年度末に開館を予定している。

議会に公表された計画概要

- ・当初の通り、2階に図書室、児童図書から大人向けまで蔵書4万冊が目標、休憩スペースや学習室も併設する。
- ・議場があった3階部分を子育て支援ルームに（新生児～2歳児用、3～5歳児用の2部屋）、集会ホールはそのまま活用する計画。
- ・改修費が約3億4千万円、年間維持費に約2500万円を想定している。



3階「子育て支援ルーム」イメージ



2階「図書室」イメージ

検討時間も長く、村長の方針表明からも1年余り、ようやく実施設計が予算化された。今後は、改修・維持管理の費用が課題だ。広く、村民から活用される施設に生まれ変わるよう引き続き、提言を続けたい。

広報紙クリニックで好評価

出席者：広報委員5名 事務局1名

11月22日、熊本県市町村自治会館で開催された町村議会広報研修会に参加した。冒頭、講師の越地真一郎氏による『議会広報が地域で存在感を増すためには何が必要か、持続可能な広報紙を作成するための工夫』などの講話を受けた。

その後、町村ごとにクリニックが行われ「すいげん」は45号から、『フルカラー』『左綴じ横書き』に大幅にリニューアルしたことなど好評価であった。

最後に、全国コンクールでの上位広報紙の説明を受けた。それらのデザインや編集の仕方等を参考にしながら、今後も読み手に伝わる広報紙を目指し、委員全員で取り組みたい。



クリニック受講の様子

議会『村議会に』紀行『聞こう』

村民の皆さまからよく聞かれる疑問に答えてみました。

村議会 & 村会議員のしごと

委員会とは？

議会の中に
常任委員会と特別委員会があるて聞いたバツェン、
詳しく教えてハイヨ

執行部からの協議案件について、毎回議員全員が集まって話し合うと、多くの時間がかかります。このため、それぞれ必要な委員会を設置して、詳しく調べたり、話し合いをしたりします。この会議を「委員会」と言います。

★議会運営委員会

円滑な議会運営を図るために、定例会の日程や進め方などを確認します。これを「議会運営委員会」と言います。また、議長から尋ねられたこと（諮問）を詳しく調べたり、議案、請願、陳情についても審査します。議会運営委員会で決定または申し合わせをした事柄に基づき、本会議等は進められますので、強い調整機能を有しています。

★常任委員会

本村議会には「総務」、「文教厚生」、「経済建設」の3つの常任委員会があります。一定部門の事務事業に関する調査及び議案、請願等の審査を行う委員会です。議員は、3つの常任委員会のうち、必ずどれかの委員会に所属することになっています。

≫総務常任委員会の所管する課は、総務課、政策企画課、税務課、会計課、復興推進課、産業観光課となります。

≫文教厚生常任委員会の所管する課は、住民福祉課、保育園、次世代定住課、健康推進課、環境対策課、教育委員会となります。

≫経済建設常任委員会の所管する課は、農政課、建設課となります。

★特別委員会

特に大きな問題等（特定事件）があった場合、その問題等をひとつの常任委員会で解決できない場合があります。そんなとき、必要に応じて作られる委員会を「特別委員会」と言います。本村議会には、次の委員会があります。

- 復興・地方創生対策特別委員会…熊本地震からの創造的復興を協議・提言
- 阿蘇立野ダムみらい活性対策特別委員会…立野ダム関連事業について協議
- 議会広報特別委員会…本広報紙「すいげん」の発行に伴う運営・編集・取材活動

特集

故立石武博議員を偲んで

立石議員の急逝により、今回の『村のがまだしモン』は休みます。



一般質問で登壇する故立石議員

主な一般質問事項

- ・地震からの村民の生活と生業の復旧・復活
- ・村民の暮らし、福祉の増進
- ・立野ダム
- ・復旧、復興と観光中心の村づくり
- ・医療、介護の負担軽減
- ・農業、農村の再生
- ・子育て、教育分野
(学校給食費全額無償化)



復旧現場を視察する故立石議員

告別式での弔辞抜粋 荒牧議長

「平成29年に南阿蘇村議会議員に初当選され、現在1期目でしたが、この間、卓越した見識と情熱をもち、精力的に議員活動をこなされ、特に住民の健康・福祉の充実、教育の推進をはじめとする村が掲げる諸政策の推進に関しては、鋭い観点から徹底的に議論を重ねておられたその姿が思い浮かびます。

また、総務常任委員会委員、復興地方創生対策特別委員会委員としてその職責を十二分に全うされ、村政の発展及び地方自治の発展に多大な貢献を果たしてこられました。1期目も折り返し半ばとなり、これから益々、議会運営や村政の円滑な推進に更なるご活躍をいただけるものと期待しておりましただけに、誠に残念であります。」

12月定例会 哀悼の言葉抜粋 山室副議長

「立石武博議員が12月3日に85歳の生涯を閉じられましたことは、あまりにも突然のことであり、未だに信じがたく、議員一同、惜別の情を禁じえないところであります。

平成29年第1回議会定例会、立石議員が議員になられて最初の一般質問においては、震災からの生活、生業の復活の施策について熱弁をふるわれ、その後、平成31年第1回議会定例会まで連続9回質問をされ、震災からの復旧・復興、村民の福祉増進、子育て・教育分野に関する提言、提案等々について鋭い観点から徹底的に議論を交わされ、一貫して是々非々の立場で議員活動を行ってこられました。更なるご活躍をいただけるものと期待しておりましただけに、誠に残念でなりません。」



編集後記

令和2年、素晴らしい日とのなか、元日を迎えました。あの日和のような1年であることを祈るばかりであります。

震災以降、多くの事業が日々着々と進んでいます。私たち広報委員も議会広報紙「すいげん」にて皆様に事業経過をわかりやすく伝えられるように取り組みを行って参ります。

2月に入り寒さも厳しくなるかと思えます。ご自愛頂き今年1年が皆様にとって幸多き年でありますようご祈念申し上げます。

今村 輝宏

議会広報特別委員会

委員長 丸野健一郎
副委員長 太田 吉浩
委員 笠野 真喜
// 今村 竜喜
// 栃原 辰郎
// 今村 輝宏

発行責任者

議長 荒牧 俊一